

すずかしりつまきたしょうがっこう  
鈴鹿市立牧田小学校



まきた  
牧田っ子

保護者用  
特別号

No.10

TEL 378-0516 FAX 378-9530

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/maki-e/>



## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果より

本年4月に6年生を対象に実施された「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、全国の児童の学力と学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的として、平成19年度（2007年度）より実施されています。本校も、調査終了後から教職員で問題や回答を見直し、授業に生かしてきましたが、結果の発表後、校内で詳しい分析を行いました。

分析結果からは、算数で昨年度により正答率が上がったものの、依然として国の平均に対して差があること。理科に関しては、国語・算数に比べると比較的高い実力があり、内容によっては全国の平均を上回る部分もあることが分かりました。しかしながら全体的には、平均して6%ほど全国平均を下回る結果となっており、今後も学校・家庭・地域で協力して学力をつけていくために、結果とその分析内容を共有いたします。

平均正答率	国語	算数	理科
(全国との差)	(-8.6%)	(-6.2%)	(-3.3%)

### 国語

問題（1ー、二）「同じ音で別の意味をもつ漢字」や、「それが複数あることに関する知識」は、正答率が86%～70%と全国の平均を少し上回りました。

しかし、それ以外の問題（1四）「話し合いをまとめる力」、問題（2三）「文章表現を考える力」、問題（3一）「文章構成や書く力」では、正答率が全国平均を10%下回る結果となりました。「話し合いから内容を適切に聞き取りまとめる力」、「適切な構成や表現を考えながら文章を書く力」に関して、大きな課題があることが分かりました。

国語の取組（学校）	国語の取組（家庭）
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝のモジュールで漢字の学習を継続する。</li> <li>週1回、新聞記事を基にした学習シートを活用し、的確に読み取る力をつける。</li> <li>全ての教科で発達段階に応じた効果的な言語活動を取り入れ、語彙の習得、聞く力、説明する力、書く力を段階的につけていく。</li> <li>校内の図書館活動をより一層充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書の習慣につながるよう、お子様に家庭での読書をぜひ勧めてください。</li> <li>市の図書館や街の本屋さんなど、ご家庭でも本に触れる機会を増やしてください。</li> <li>適切な表現や、正確な語彙を身につけるため、家庭の会話なども意識してください。</li> </ul>

## さんすう 算数

問題1(1)「計算」、2(2)「%から比較量を求める」、3(2)「表から関係を読み取る」は、全国平均を少し上回り（+1.5%～+3.4%）しました。

しかし、それ以外の問題1(2)「最小公倍数」、1(4)「数の処理」、2(4)「比例の理解」、3(1)「表から関係性を求める」、4(1)「正三角形の性質と考察」では、いずれも全国平均を10%かそれ以上下回る結果となってしまいました。

どの問題も、公倍数や比例、図形など基本的な知識を身につけた上で、それぞれの問題に合った考察や処理ができる応用力が必要でした。基本的な知識を身につけた上で、適切に応用する力に課題があると言えます。

さんすう とりくみ がっこう 算数の取組（学校）	さんすう とりくみ かてい 算数の取組（家庭）
<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回、「学Viva」を活用した宿題を課題とすることで、算数の基礎学力定着を図る。</li> <li>見通しをもち、根拠を明らかにし、道筋を立てて考える学習活動を充実する。</li> <li>言葉や数・式・図・表・グラフを用いて問題を解決する、考えを算数用語で説明する、考えを発表し合うなどの学習活動を充実させる。</li> <li>国語科と連携し、各単元にふさわしい言語活動を決め、思考力・判断力・表現力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題など家庭でする課題の実施状況をチェックしてください。</li> <li>九九の暗記など、ご家庭でも応援できるころは、協力をお願いします。</li> <li>算数では、「理解の速度」が各個人で異なります。早く理解できても適切な処理ができなければ答えは出せません。時間がかかっても、あきらめず問題に取り組む姿勢を家庭でも大切にしてください。</li> </ul>

## りか 理科

理科は、国語・算数に比べて全国平均にせまる結果となってしまいました。問題1(3)「昆虫の体のつくり」では、全国平均を15%上回り、3(1)「光の性質」や3(4)「実験結果の分析と考察」では、正答率が全国平均を（+3.7%～+6.9%）上回りました。牧田小学校では、子どもたちが日頃から虫かごを持参し、昆虫やカナヘビなどを日常的に観察する姿をよく見かけます。その結果、昆虫などに関して自ら知識を身につけることができたからかもしれません。この結果は子どもたちが主体的に学ぶ取組を、今後考えていく上で、大きなヒントになると考えています。

しかし、それ以外の問題1(5)「観察した結果を他の視点で考察する」、2(3)「実験結果の予想と結果の分析」、3(3)「実験方法の発想と改善力」、4(4)「水の状態変化の知識」では、いずれも全国平均を10%かそれ以上下回ってしまいました。

どの問題も、やはり各分野の基本的な知識を身につけたうえで、それぞれの問題に合った予想や考察、分析ができる応用力と説明できる力が必要でした。やはり理科でも、国語や算数と同様、「応用力」と「説明できる力」に課題があることが分かりました。

理科の取組（学校）	理科の取組（家庭）
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な現象や様子から、主体的に観察したり学んだりと取り組むを、より意識的に取り入れる。</li> <li>言葉や数・図・表・グラフなどを使って。変化を記録する、観察結果を分析する、互いの考えを発表し合うなどの学習活動を充実させる。</li> <li>国語科と連携を図り、各単元に応じた言語活動を決め、思考力・判断力・表現力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題や観察など家でする際は、実施状況のチェックなどご協力をお願いします。</li> <li>理科で学ぶ内容の多くは、身の回りにある身近な現象や生物の中に見ることが出来ます。お家でも、お子様がそれらに興味を持ち続けられるようご協力を願います。</li> </ul>

ここまでの全国・学力学習状況調査で得られた結果は、あくまで学力の一部を表すものです。しかしながら普段は見えにくい学力の一部を表す資料として大いに参考にし、今後の学校の授業改善や、宿題など課題への取組を見直していきます。また、ご家庭でも、上記の表の（ご家庭での取組）を参考に、家庭生活や家庭学習への取り組みを見直していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

## 児童質問紙より

児童質問紙は、アンケート形式で児童の生活や学習の様子を知り、今後の学校生活や家庭生活に生かすために全国・学力学習状況調査と一緒にされる調査です。裏面に、本校の特徴となる結果をまとめましたので、ご家庭の生活の参考にさせていただきますようお願いいたします。

## 生活習慣に関すること

質問項目	牧田小	全国	全国差
朝食を毎日食べていますか （している）＋（どちらかといえばしている）	92%	94.4%	-2.4%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか （している）＋（どちらかといえばしている）	88%	81.5%	+6.5%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか （している）＋（どちらかといえばしている）	96%	90.4%	+5.6%
携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、 家の人と約束したことを守っていますか（している）	74%	71.5%	+2.5%
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム （様々な端末含む）をしますか（3時間以上）	32%	30.7%	+1.3%
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォン でSNSや動画視聴などをしますか（3時間以上）	14%	19.7%	-5.7%

全国と比べると牧田小学校の子どもたちは、規則正しい生活がおくれるよう、ご家庭で様々な配慮をいただいていることがよく分かります。個人差はありますが、もう少し朝食が摂れるようになると、なお良いと思います。

## 家庭学習に関すること

質問項目	牧田小	全国	全国差
家で自分で計画を立てて勉強していますか？ (よくしている) + (ときどきしている)	70%	71.1%	-1.1%
学校の授業以外に普段どのぐらいの時間勉強をしますか？ (1時間以上)	60%	59.4%	+0.6%
学校の授業以外に普段どれぐらいの時間、読書をしますか。 (30分以上)	24%	36.4%	-12.4%

家庭学習はある程度できているようですが、やはり読書量がとても少ないです。読書は「論理的思考」や「抽象概念」、「学んだことを応用する力」や「説明する力」を育むだけでなく、物事を深く掘り下げる「探求する力」や「課題を解決する力」、そして何より「文章を書く力」にもつながります。

ご家庭でもぜひお子様に読書をすすめていただきますようお願いいたします。

## 豊かな人間性に関すること

質問項目	牧田小	全国	全国差
自分には良いところがあると思いますか。 (当てはまる) + (どちらかといえば当てはまる)	62%	79.3%	-17.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか。 (当てはまる) + (どちらかといえば当てはまる)	96%	96.8%	-0.8%
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか (当てはまる) + (どちらかといえば当てはまる)	92%	87.2%	+4.8%
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか (当てはまる) + (どちらかといえば当てはまる)	86%	72.5%	+13.5%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか(当てはまる) + (どちらかといえば当てはまる)	80%	68.1%	+11.9%

全体的に高い自己肯定感をもっている児童が少ないです。しかしながら、「いじめを許さない姿勢」は全国同様高く、「やり遂げようとする姿勢」や「困難なことに恐れず挑戦しようとする姿勢」は、全国平均を大きく上回る数値でした。牧田小の子どもたちは、素晴らしく前向きな姿勢をもっているといえます。また、困ったときや不安な時に、迷わず大人に相談できる数字が、全国平均を大きく上回っていることも、安心できる結果でした。